

ワークショップ

ロボットビジネス・マインドリセット

ロボットならではの「X 番目」の特別で劇的な新しい価値を創出する

人手不足による自動化ニーズや生成 AI の急速な進展などを受け、様々な業種・分野で「新たな価値の創出」を目指す動きが進んでおり、従来の価値観をリセットし、これまでとは違う新たなことにチャレンジし続けるマインド (Challenge-ing Spirits) が求められています。

2021 年 10 月から開始した本ワークショップでは、これまでの豊富な実務経験で蓄積してきた知見・ノウハウと独自分析に基づく国内外の最新事例を交え、「ロボット※ならではの特別で劇的な新しい価値」について徹底的に議論・深掘すると共に、与えられた「解」ではなく、自ら「解」を導き出す「ロボットビジネス・マインド」をコーチングしていきます。

※広義のロボット（ロボット、ドローン、自動運転車など「自ら考え動くモノ」。 AI、遠隔（半自動）、パワーアシストなどのロボット関連技術を含む）

本ワークショップを通して、ロボットを活用したソリューションや付加価値をも上回る、ロボットならではの「X 番目」の特別で劇的な新しい価値を見出し、プレゼン発表（経営層への提案）までをゴール目標とします。

【主な対象者】

- ・生成 AI 活用による「新たな価値の提供」を模索する企業
- ・社内やグループで横断的に新規事業開発を行っている企業
- ・オープンイノベーションにおいて共創アライアンスやコラボレーションを実施している企業・機関
- ・経営・新規事業・DX/SDGs 推進・事業企画・研究開発・マーケティング・製造部門
- ・社員の DX やリスクリングに悩んでいる経営者や担当者 など

【推奨カリキュラム】

全 3 回 レクチャーとワークショップで構成（1 回 4 時間）

ロボットビジネス共通理解のための「ロボットビジネス基礎 オンデマンド学習」付（事前学習ビデオ）

第 1 回	レクチャー：3つの問い、レベル合わせ（現状、目的、ゴールの確認）、ロボットならではの新たな価値(事例) ワークショップ：ロボットならではの新たな価値を巡るディスカッション/グループ発表
第 2 回	レクチャー：1つの問い、ロボットのビジネスモデル(事例) ワークショップ：ロボットのビジネスモデルを巡るディスカッション/グループ発表
第 3 回	レクチャー：振り返り（現状、目的、ゴールの確認） ワークショップ：「X 番目」のロボットならではの新たな価値×ビジネスモデル ディスカッション/グループ発表 プレゼンテーション：ロボットならではの「X 番目の特別で劇的な新しい価値」の発表（経営層への提案）

【実施日・場所・内容・料金など】実施 2 週間前までに相談により決定（秘密保持に関する覚書を締結）

【申し込み・詳細】ロボティク普及促進センター ホームページ <http://npo-ric.seesaa.net/>

otoiwase[a]npo-ric.org ※[a]を@にしてご連絡ください



【講師】 小林賢一 NPO 法人ロボティック普及促進センター 理事長 / 株式会社ロボットメディア 代表取締役

これまで、介護・高齢者見守り、インフラ点検、建築施工、搬送運搬、清掃、コミュニケーション、協働ロボットなどの開発、利活用、セカンド・オピニオン、STEAM 教育の実務に多数関わり、現在、ロボットビジネスに関する様々な相談に対応している

【講師略歴】

ロボット産業創出推進懇談会 座長(2016～2021)、ロボット保険サービス 代表 (2012～2021)、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会 事務局長 (2011-2015)、ロボット実証実験実行委員会 委員長 (2011-2014)、介護・医療分野ロボット普及推進委員会委員(2010～2012)

2005 年 ロボットの調査、マーケティング、コーディネート、プロモーション支援を専門に行う「ロボットメディア」を設立 (12 月)

これまで、介護、医療、生活支援、住宅、宇宙、レスキュー、パーソナルモビリティ、ロボット掃除機、パワーアシスト機器、協働ロボット、テレプレゼンス、無人機 (ドローン)、量子コンピュータ・量子暗号通信、人工知能など、ロボット関連技術を含む国内外 90 を超える調査、500 人を超えるロボットキーパーソンへの取材を行う

同年、ロボティックライフスタイル®コミュニケーションサイト「ロボカーサ・ドットコム」運営開始。また、ロボットを基軸にヒトと機械と社会との関係性を考える「ロボティックライフスタイル® Journal」をスタート

2006 年 ロボットと暮らす上質で新しい生活「ロボティックライフスタイル®」を商標登録 (第 4974814 号)

2007 年 調査・執筆した「高齢者・障害者の次世代自律支援機器の市場性と介護施設のニーズ分析」が、神奈川県「介護・医療分野ロボット普及推進事業」(2010 年)の基礎資料となり、その後の介護ロボットの普及・実用化につながっていく

2010 年 ある家族とロボットとの 20 年にわたる物語、実証実験シアター「ロボティック・ドラマ 第 1 幕 Sex Bargain Robot」を作・演出 (2012 年に英字幕付き映像編集版を製作、上映)

2011 年 ロボット関連技術 (ロボティック) の一層の普及を目指す「ロボティック普及促進センター」を設立 (4 月)

同年、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会事務局業務を開始 (～2015 年 6 月)

また、同年から 3 年間、神奈川県実証実験支援事業の実証実験実行委員会委員長を務め、実証実験の運営手法、安全性の確保など、ロボットが普及していくために必要なノウハウについて、総合的に取りまとめる

2013 年 NPO 法人として日本で初めての損害保険代理業務 (名称:ロボット保険サービス)を開始し、ロボットやドローンの実証実験、自動運転車のデモ走行、サイバーセキュリティなどの先進技術の保険や安全に係るコンサルティングを行う (～2021 年 3 月)

2014 年 ロボットビジネスの新たなプレイヤーになるための「日本ロボットビジネス体系講座」を開始 (毎月開講)

2015 年～2016 年 関東経済産業局管轄の広域関東圏 (1 都 10 県)におけるロボット関連施策に関する行政ヒヤリング及び注目すべきロボット関連企業、その利用動向調査を実施

2016 年 利害関係のない中立で公正なロボットビジネス適正診断「ロボット・セカンドオピニオンサービス」を開始

2017 年 スウェーデン労働博物館 (ARBETETS MUSEUM) の「日本の高齢者ケアにおけるロボットと新しいテクノロジー」展のためのインタビュー及びロボット活用現場の視察先取材に協力

同年、収益化をテーマにした「新・日本ロボットビジネス体系講座」を開始(～2021 年 9 月 通算 85 回 受講企業:約 250 社)

2021 年 ワークショップ「ロボットビジネス・マインドリセット ロボットならではの「X 番目」の特別で劇的な価値を創出する」を開始

同年、ロボットマトリックス※・カーブアウト (分離販売) またロボットビジネス オンデマンド・ビデオ/オンライン・レクチャーを開始

※ロボットビジネスに関わる世界主要約 1500 社を約 700 項目に分類。これにロボット専門実務経験で培った独自のノウハウを加味したプラットフォーム

2022 年～2023 年 ロボットビジネスの現状と未来をグローバルな視点で俯瞰することで、ロボットビジネスをもう一段上のステージに導く「ロボットビジネスの全貌シリーズ」(基礎編、実践編、資料編、展開編で構成)を刊行

2023 年 極限環境分野での収益確保を目指す研究会「ハイブリッドデュアルユース/ダブルインカム」を発足

◆ロボティック・シンポジウム（ヒトと機械と社会との劇的關係性＝グラン☆ロボティックをテーマにしたシンポジウム）

第1回 ロボット関連技術の境界線 発展する無人機の可能性と国際動向（2013年11月 東京ビッグサイト）

第2回 5年後の世界 ロボット、量子コンピュータ、量子暗号（2016年1月 東京ビッグサイト）

第3回 ロボットテクノロジーの劇的進展とベーシックインカム究極の社会保障（2016年6月 サムライインキュベート）

第4回 ワレラの時代 ソサエティ 5.0の先にあるもの 幸福・AGI・BI（2017年2月 東京ビッグサイト）

第5回 ロボットビジネス・プレイヤーズ・サミット 日本ロボットビジネス体系講座4周年記念シンポジウム（2017年10月 幕張メッセ）

第6回 ハイブリッド デュアルユース フューチャー ダイアログ（2023年9月 かわさき新産業創造センター）

◆セミナー

日本のロボットの2019年問題 “ロボット”に引っ張られ過ぎないためのロボティックディスカッション（2018年6月 東京ビッグサイト）

データ入出力デバイスとしてのロボット（2019年6月 東京ビッグサイト）

中国製ロボットとの付き合い方 席卷される前に為すべきこと（2021年10月 東京ビッグサイト）

日本のロボットビジネスの「価値筋」（2022年5月 東京ビッグサイト）

日本のデュアルユースロボットの行方/防衛装備庁における研究開発の取り組み（2023年6月 東京ビッグサイト）

ハイブリッドデュアルユースとマインド・リセット/多目的産業用ドローンの開発（2023年10月 ハービスホール（大阪市）

◆オンラインセミナー/講座

収益化への道 ロボットビジネスをいかにスケールアップさせるか（2020年5月 Smart Sensing 2020）

ロボットビジネスの全貌 その序ノ口講座（2020年10月 CEATEC 2020）

ロボットビジネス縦横無尽（2021年7月 Smart Sensing 2021 オンライン）

●NPO 法人ロボティック普及促進センター（RIC）について

かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会の会員有志などが中心になって、ロボット及びロボット関連技術の普及と活用促進を目的に2011年4月に設立（認証）※しました。

※2013年12月（指定NPO）、2014年8月（認定NPO）、2013年4月（ロボット保険サービス）

理念：夢や情熱をもつ個人の想いを皆で共有し、その想いを公共（パブリック）で実現しながら地域（コミュニティ）に広げる

これまで、企業や研究機関、自治体などと連携して、ロボットビジネスに関わる多面的な実務（調査、開発支援、導入支援、実証実験、安全性確保の取組み（損害保険代理や安全に係るコンサルティング）や学童教育支援、展示会出展協力などを行い、また、新規プレイヤーを養成する講座（日本ロボットビジネス体系講座）やシンポジウム、セミナーも数多く実施してきました。

現在、日本のロボットビジネスをもう一段上のステージに導く独自の活動を行っています。

・ワークショップ「ロボットビジネス・マインドリセット」（2021年10月～）：「ロボットならではの「X番目」の特別で劇的な新しい価値」を創出する

・講座「プレイヤーになる 新規ロボット事業開発」（2021年10月～）：ロボットビジネスの新規プレイヤーを目指す

・書籍「ロボットビジネスの全貌シリーズ」（2022年1月～）と「世界ロボットビジネス大全」（2022年5月）：ロボットビジネスの現状と未来をグローバルな視点で俯瞰する

・研究会「ハイブリッドデュアルユース/ダブルインカム」（2023年10月～）：異なる領域・用途にも利用可能な無人機のデュアルユースと総合的な実運用（オペレーション）により、極限環境分野での収益確保を目指す

・各種相談「ロボット・セカンドオピニオンサービス」（2016年10月～）：利害関係のない中立で公正なロボットビジネス適正診断 など

お問い合わせ E-mail : otoiawase [a]npo-ric.org [a]は@に変更してお送りください